

とちぎ義博

議会レポート

第36号 2007年 春号

発行者：福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305
 TEL.845-7669 FAX.845-8511
 E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ホームページを開設しました
<http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/>



3月予算議会
 代表質問

とちぎ義博が市長公約を質す！

吉田宏市長、公約実現の姿勢貫く

市政に対する福岡市民の関心事は、吉田宏・市長が昨秋の市長選挙での公約を守り、子育て、教育、福祉などの「暮らし重視の市政」を着実に進めることができるのかどうか、であると思われまふ。とちぎ義博は、2月27日の議会本会議で民主党市議団を代表して、公約の「暮らし重視の市政」を実現する平成19年度予算が確保されているのか、吉田市長に質しました。

開発行政から、暮らし重視の市政に転換へ！

吉田市長が選挙で、1年や2年など期限を区切って市民に約束した政策課題については、その公約を守るためにも当然、予算案に計上、反映されていなければなりません。とちぎ義博は、①留守家庭子ども会の無料化、サービスの充実 ②就学前の乳幼児医療費の無料化 ③小中学校の耐震改修の早期実現 ④障がい者の自立支援のため負担軽減策の実施

⑤少人数(35人)学級の実現などの公約について質したところ、吉田市長は来年度予算を確保し、公約を守る強い姿勢を示しました。【表1】

これらの公約実現に必要な予算の財源は約13億円ですが、市長は督促強化による市税収入率の向上や外郭団体の統廃合、人件費の抑制など行財政改革による約56億円の捻出でその財源を調達。市債の繰上償還(借金返済)の実施のほか、「日本一子育てしやすいまちづくり」の実現に向けて関係予算を大幅に増額しています。

人工島事業見直しへ！市立病院移転ストップで

昨秋の市長選挙で争点となったアイランドシティ(人工島)整備事業の見直しについて、吉田市長は同事業の再検討を進め、今秋までに見直し案を示すことを約束。また、こども病院と市民病院の人工島への統合移転計画をストップし、あわせて見直しことを明言しました。

芝生公園の再生、校庭芝生化に本格着手へ！

また吉田市長は、既存の芝生広場14ヶ所を再生して、芝生のある自由に遊べる公園づくり(早良区では中央公園2ヶ所の整備)を進めるとともに、百道浜小学校の校庭を全面芝生化にすると、とちぎ義博の質問に答弁しました。

【表1】 予算案に計上された市長公約関連事業

主な公約	実現目標年	予算案に盛り込んだ内容
就学前の医療費無料化	1年	初診料・往診料の無料対象を3歳未満から就学前まで拡大。通院・入院医療費も就学前まで無料。所得制限なし
留守家庭子ども会無料化	1年	放課後から午後5時まで月額3000円を無料。開設時間を公約通りに午後6時から午後7時まで延長したが、午後5時からの延長利用料は月額1000円(1時間)
各区に芝生で遊べる公園2カ所	1年	芝生公園の新設なし。既存の芝生広場14カ所の管理徹底。うち4カ所の芝生張り替え
小中学校の耐震化改修工事	4年	耐震改修校数は従来計画(10年間)の16校。改修に先立つ耐震診断校数は計画より9校増の38校。残りの診断対象は107校
35人学級の実現	なし	少人数学級を小学1、2年生から3年生までに拡大
教育アクションプラン	なし	教育改革プログラムを見直し、教育アクションプラン策定に着手
小中学校の校庭芝生化	なし	百道浜小学校庭約4500平方メートルに芝生を整備



とちぎ義博は、吉田市長とともに「暮らし重視の市政」の実現に向けて、4月8日に迫った福岡市議会議員選挙を三選めざし闘います。

吉田市政をささえ、福岡市議選(4月8日)を闘います！

とちぎ義博 議員活動3期目に向けた公約

- ①社会問題化したアイランドシティ(人工島)事業の現実的な解決を図ります。
- ②少子化対策として未就学児医療費の自己負担分の無料化をめざします。
- ③働く保護者の声を受けとめ、無料化はじめ時間延長や児童年齢を拡大するなど、留守家庭子ども会を充実します。
- ④障害者の自立支援にむけて独自の負担軽減策を継続させます。
- ⑤子どもたちの安全第一に、小・中学校の耐震改修工事を早期に実現します。
- ⑥校庭の芝生化をすすめ、緑に笑顔あふれる小学校づくりをすすめます。

とちぎ義博 福岡市議会議員(早良区)のプロフィール

【理念】 **現場主義**—暮らしの現場、働く現場、現場の思いを政策に。

真実は、働き暮らす人びとの思いや願いのなかにこそある、という政治姿勢で議員活動を貫き通したいと思ひます。

- 【政策】
- ①子どもたちに多大な借金を残さない健全な都市づくりをすすめます。
 - ②思いっきり暮らし重視へ。安心・安全の都市づくりをすすめます。
 - ③クルマに依存しない人中心の都市づくりをすすめます。

- 【議会】
- ・所属会派(役職):「民主・市民クラブ」(代表)
 - ・第3常任委員会委員(経済・農林・港湾)
 - ・交通対策特別委員会 運営理事
 - ・大都市税財制度確立推進協議会 運営理事

- 【略歴】
- ・1953年(昭和28)福岡県嘉穂郡稲築町生まれ、53歳。
 - ・県立稲築高校卒、佐賀大学中退。
 - ・西鉄社員(西鉄労組)。
 - ・「福岡の都市づくりと交通を考える会」事務局長。
 - ・1999年(平成11)4月、福岡市議会議員選挙 初当選。
 - ・福岡市早良区百道浜1丁目在住。
 - ・会社勤めの妻とふたごの息子(大学生)の4人家族。

とちぎ義博 2期目4年間の議会活動

2003年(平成15年)

- 7.19豪雨、10世帯の家屋土台を洩う。室見川支流の椎原川(早良区)被災者の救済に全力。被災者の声届け要望おおむね実現。

- 地下鉄七隈線全駅に多機能トイレ設置へ。とちぎ義博の質問に答弁。子ども連れ、障害者のバリアフリー化するむ。

2004年(平成16年)

- 校庭芝生化の効用認める。とちぎ義博の質問に市教育委員会がヒートアイランド対策で。

- 舗装改良で基準値下回る。シーサイドももち都市高速の騒音対策実る。

- 百道浜中学校予定地を核にしたまちづくり。とちぎ義博が参加する地元公民館サークル「シミュレーション2020百道浜」が提案発表。



2005年(平成17年)

- 「住宅再建なくして復興なし」。被災マンション助成の制限緩和、住宅再建基金・共済の創設求める。3.20福岡沖地震受けて。
- 開催リスクを回避するために、大規模開発ともなう従来型五輪からの脱却求める。

2006年(平成18年)

- 山崎市長と格差論争。本会議で認識質す。
- ずさんさ露呈。五輪招致の須崎埠頭開発。五輪落選も開発進めるの市長答弁に批判集中。



- 吉田宏さん(現市長)が民主党推薦の市長候補に。
- 市の借金総額3兆219億円。隠れ借金3,529億円が新たに判明。決算特別委で。
- 吉田宏・新市長誕生。暮らし重視の市政に転換へ。



2007年(平成19年)

- 就学前の乳幼児医療費が無料化へ。子育て、教育、福祉など、暮らし重視型の予算編成に。百道浜小・校庭の全面芝生化に着手へ。

統一自治体選挙(4月8日の県議・市議選) 民主党の総力あげて闘います。



小沢 一郎
民主党代表



藤田 一枝
前衆議院議員
福岡3区総支部代表



宮浦 寛
福岡3区総支部副代表

県会議員候補(早良区)に決定

とちぎ義博事務所を開設しました。

〒814-0006 福岡市早良区百道1-1-1
東急リパブル百道ビル2階
TEL.845-2224 FAX.845-2208

